

フォーラム おおさか

E-mail : jchikencenter@ns.jichiro-osaka.gr.jp

●発行 PLP 会館 大阪地方自治研究センター

●連絡先 大阪市北区天神橋3-9-27 PLP 会館 Tel: 06-6242-2220 Fax: 06-6242-2224

CONTENTS

2023年 4月号 NO.172

統一地方選後の
大阪における争点—カジノ…………… P. 1-4
■PLP 会館 大阪地方自治研究センター 研究員 尹 誠國

p. 1



統一地方選後の 大阪における争点 —カジノ

■PLP 会館 大阪地方自治研究センター 研究員 尹 誠國

統一地方選挙前半戦が終わった。大阪ではしばらく維新政治が続きそうな結果になった。維新政治の評価は歴史に委ねるとしても、まず、私たちは個別の政策・施策については目を離さず注視し、批判すべきところは批判していくべきである。

今回の選挙結果を受け、大阪では今後カジノやIRが大きな争点の一つになりそうである。そこで、本号では韓国のカジノ産業に注目して、カジノについて考えてみることにする。

●人間の射幸性とカジノ

ホモルーデンス (homo ludens) という言葉がある。これは遊ぶ人という意味の人間観の一つである。遊び方は人それぞれ違うかもしれない。筆者は旅行が好きである。また、音楽を聴いたり、映画やドラマを見たり本を読んだりする。新型コロナも第5類となる予定で、マスクや行動制限もなくなり、水際

対策も大きく変わってきている。人々の遊び方もコロナ以前と比べ変わってくるかもしれない。

そんな様々な人間の遊び方の中で、本号ではカジノを取り上げる。カジノは人間の持つ射幸性に目をつけた遊びであると言えよう。また最近では競馬などでも射幸性の引き上げ競争が行われているようである。

●カジノの歴史

カジノはヨーロッパが起源とされる。ルイ15世の時代のフランスにおいて、カジノの元となる上流階級向けや庶民向けの賭博場が広まった。フランス革命によって王政が倒れると、賭博に対する制限がなくなりさらに流行したが、総裁政府の時代になると賭博場を公認としてコントロールしつつ、課税するようになった。その後、権力を手にしたナポレオンは賭博規制を行ったが、第三共和政の1907年には合法化された。

イタリアでは1638年に世界最古と言われるカジノ

・デイ・ヴェネツィアが作られ、ドイツでは保養地のバーデン＝バーデンにドイツ最古のカジノができた。後発のヴィースバーデンのカジノは1771年に設立されたという記録が残っている。イギリスには継続営業中のカジノとしては世界最古の「クロックフォード」が現存している。モナコでも19世紀にカジノが広まった。アメリカでは1931年にネバダ州で合法化され、1940年代にはラスベガスがカジノの町として急速に発展している。

1960年後半から1970年代になるとスペイン、オランダ、オーストラリア、南アフリカ共和国、ケニア、セネガル、アメリカのニュージャージー州などで合法化され新しいカジノが作られた。1960年代以降、ラスベガスでは装飾や建築物を一つのテーマに合わせたテーマカジノが建設され、家族連れや地元客をターゲットにした新しいカジノが登場。それはショーやリゾート施設といったエンターテインメントとの融合施設で、それが主流となり発展した。カジノゲーム自体では他社と差別化が図れないのがカジノビジネスの欠点であった。しかし、エンターテインメントショーで自社に顧客を集め、たとえエンターテインメントショー自体が赤字でも、ギャンブルから収益を得るというビジネスモデルが一般化している。

その後、カジノは120カ国以上で合法化されており、国によって制限内容は大きく異なる。だが、世界では2000軒以上のカジノが存在し、観光資源の一つとして競争が行われるようになった。一方、1950年代のラスベガスに代表されるように非合法組織の関与は大きな問題とされ、それに対抗する規制強化が行われてきた。1990年代後半にはマカオにおいて、カジノを巡る抗争が激化したが、現在は沈静化している。

●カジノの明暗

カジノのように明暗がここまで克明なものもないであろう。カジノは生産と破壊という二つの顔を持っているのだ。

韓国では1967年に外国人専用のカジノ営業が始まり、“外貨稼ぎ”の一環として、ある意味効果を発揮してきた。例えば、1997年、外国為替危機に見舞われた韓国であったが、翌年の1998年にはカジノだけで約2億ドルの経済効果があったのだ。その1998年のカジノ利用客一人当たりの平均消費額は297ドルだ。同じ時期の輸出品の価格を見ると、半導体（4メガMDRAM）一つ12.6ドル、カラーテレビ（14インチ）1台149ドル、小型乗用車1台5216ドル。つ

まり、外国人観光客一人が韓国のカジノを訪れた場合、半導体24個、テレビ2台輸出するのと同じ経済効果となり、カジノ利用客を18人増やすと小型乗用車1台輸出したのと同じ効果となるのだ。

そして、1998年のカジノの経済効果は、半導体3870万個、テレビ214万台、乗用車4万6千台の輸出に匹敵するものだった。また、24の産業分野の中から、生産15位、所得8位、雇用3位、付加価値の創出7位、間接税3位などカジノは上位にランクされている。特に雇用と税収拡大という意味で効果的であるとの分析がある。同様にオーストラリアのメルボルンやシドニーは都市再開発の巨額の財源をカジノで賄ったと言う。

経済効果という意味では確かにポジティブな部分があるかもしれない。しかしながら副作用についても注目すべきである。韓国の事例でもわかるようにギャンブルが原因となり自殺者まで出ているのだ。果たして経済効果だけでカジノを考えて良いのが甚だ疑問だ。

韓国では1967年8月仁川（現在、仁川国際空港がある）に、1968年3月にはソウルにそれぞれカジノが開業し、韓国人も入場できた。しかしながら、副作用があまりにも深刻な社会問題になり、ギャンブルで全財産を失った人の家族が抗議する騒ぎにもなったという。また公金を横領しギャンブルに注ぎ込む事件が後をたたず、韓国人のカジノへの入場は1972年3月から禁止となった。

そしてアメリカでは、ギャンブル中毒者は周りの人6～12人に迷惑をかけ、ギャンブルで1ドルが使われると社会的コストは3ドル増えるというデータがある。またルイジアナ州では、住民10万5千人～18万2千人がギャンブルで苦しんでおり、それに関連した社会的費用は16億ドルを超えているというデータもある。ほかにも所得の中からどれくらいギャンブルに使っているかを調べたところ、貧困層であるほどギャンブルにお金を費やしている割合が高いという調査結果があった。例えば、ミシシッピ州のカジノ周辺に住む住民では、年間所得1万ドル以下の住民のギャンブルに使うお金は所得の約10%、1万ドル～2万ドルの住民は4%、4万ドル以上の住民は1%というものだ。

●韓国のカジノー江原ランド

ここでは韓国のカジノの事例として江原ランドを取り上げる。

1997年6月、江原道（カンウォンド）旌善（チョ

ンソン) 郡に江原ランドが設立された。ホテル、ゴルフ場、スキー場などをもち、年間518万人の観光客の訪れる韓国国内最高の I R に育てていくというのが当初の狙いであった。江原という名称は江原道から取っているのだろう。江原道は韓国の広域自治体の一つである。韓国の広域自治体として道は九つあり、日本の県に相当する。そして、旌善(チョンソン) 郡は金・銀・鉄・石炭などの地下資源に恵まれており、かつては炭鉱の町だった。その名残りとして今も石炭運搬に使われた鉄道路線が残っている。だが、現在ではカジノのある観光都市である。

日本でも知られる俳優のウォンビンの故郷でもある旌善郡は、高原地帯にあって、韓国の民謡でアリランの一種である旌善アリランが伝わることで知られる地だ。郡は韓国の基礎自治体の一つであり、首長は郡守(グンス) という。

1995年“閉鉱地域開発支援に関する特別法”が制定された。そのため江原ランドは韓国国内で唯一外国人専用ではないカジノとなり、韓国人が入場できるようになった。その入場料は、2016年1月1日から一人当たり9000ウォン(900円)である。

江原ランドの売上高は、設立3年後の2000年は909億ウォン(90.9億円。10ウォン=1円。以下、同じ)だったが、2007年には1兆ウォン(1000億円)となり、2017年には売上高1兆6000億ウォン(1600億円)、営業利益5300億ウォン(530億円)まで伸びて営業利益率は33.4%となった。2019年には約289万人が入場し、1兆4815億ウォン(1481.5億円)の売上高を記録、営業利益は3347億ウォン(334.7億円)に上った。

しかしながら、新型コロナの影響で2020年の入場者数は約60万人まで減少し、売上高も4435億ウォン(443.5億円)に急減した。2021年には84万人が入場し、7750億ウォン(775億円)の売り上げを記録するなどやや回復した。新型コロナの影響で、2020年には設立後初めて赤字を記録した江原ランド、その赤字額は2759億ウォン(275.9億円)で、2021年にも106億ウォン(10.6億円)の赤字を記録した。

江原ランドは設立後、2017年まで国税と地方税、閉鉱基金、観光基金など合計6兆7000億ウォン(6700億円)を納付している。また、傘下の会社などに約5300人を雇っており、その割合は地元住民が約75%である。しかしながら、このような明るい部分だけではない。矛盾だらけであることはすぐわかる。

2017年のデータを見ると、江原ランドが子会社などに投資した額は3089億ウォン(308.9億円)。そのうち回収不可能な資金は1871億ウォン(187.1億

円)だ。また、江原ランドが100%出資したハイワンエンターテインメントは2017年5月から休業しているが、2017年5月以来23億ウォン(2.3億円)のコストが発生している。その年間平均額は約5億ウォン(5千万円)である。この会社は、2003年に始まった江原ランドと地元の自治体が共同で進めている地域開発事業の一環として設立されたものだ。また、江原ランドはハイワンエンターテインメントに647億ウォン(64.7億円)、ハイワンサンドンテーマパークには425億ウォン(42.5億円)を出資したが、回収不可能な資金が発生し、その額はそれぞれ538億ウォン(53.8億円)・83.2%と347億ウォン(34.7億円)・81.6%である。他にもいくつかの子会社に1267億ウォン(126.7億円)もの金額を出資している。

そして、このような資金面だけではなく、人命においても大きな損失を出している。それが自殺という現象だ。2000年10月から2009年10月まで、ギャンブルが原因となった自殺者は旌善(チョンソン) 郡だけで35人というデータがあり、2014年の旌善(チョンソン) 郡の人口10万人当たりの自殺者は61.8人で、江原道でワースト1位であった。

●ギャンブル中毒を防ぐための様々な工夫

当たり前かもしれないが、未成年者は出入り禁止である。ほかに、ギャンブル中毒を防ぐための様々な工夫がなされている。

鏡と時計

鏡と時計を置くことによって、鏡に写っている自分の情けない(?)姿や帰宅時間になったことに気づいてもらうというのが狙いらしい。

カウンセリングの義務化

1カ月に15日間以上、2カ月連続入場した客については、必ずカウンセリングを受けさせ、中毒の危険性があると判断された場合は、病院で治療を受けるように勧める。

家族への連絡

1カ月に15日間以上、3カ月連続入場した客については、家族に知らせ、二度と入場させないように警告、帰宅旅費を支給する。

江原ランドギャンブル治療センター

江原ランドギャンブル治療センターを訪れた人は

2018年5988人、2019年3427人、2020年は1116人、2021年には1353人、2022年8月現在で2698人がカウンセリングを受けている。

ギャンブル中毒予防事業費

2017年から2021年までの5年間の江原ランドの売上高は約4兆7400億ウォン（4740億円）である。しかしながら、ギャンブル中毒の予防に使われたのはわずか219億ウォン（21.9億円）だ。江原ランドのギャンブル中毒率は54.3%で、韓国の射幸産業でワースト1位である。にもかかわらず、ギャンブル中毒予防事業費は売上高のわずか0.5%しか使われていないのだ。

●ギャンブル四方山話

1995年1月から2月にわたって韓国であるドラマが放送された。それが『砂時計』だ。このドラマの放送日は家路を急ぐ人が多く、自営業の皆さんは嘆いていたという。社会現象とも言えるほどであった。筆者も録画版を知り合いからもらってパソコンに保存してある。このドラマで女性の主人公がカジノで働き、見事な手つきでチップを捌く場面がある。なかなか格好良い。また、マカオやラスベガスなどカジノ産業で名を馳せる街も登場する。

ギャンブルとは無縁な筆者も映画やドラマで描かれているカジノを見ていると一度やってみたいという気持ちになる時がある。そして個人的には、これだけ世間で話題になり、争点にもなっている産業であり、ビジネスでもあるカジノの仕組みに興味を湧いてくる。

カジノで儲かっている観光地や企業があるのも確かであろう。しなしながら、ギャンブル中毒で多くの人が苦しんでいることも忘れてはならない。

韓国では、旧正月か旧盆に家族が帰省し、様々な遊びを楽しむ。一昔前は花札だった。そして、花札はギャンブルの一つの手段でもあった。妙な話かもしれないが、筆者は花札では勝ったという話を聞いたことがない。なかなか疑問が解けなかったが、2-3年ほど前に韓国に里帰りした時ようやくその疑問が解けた。義理の父が言うには、花札は鏡を見て一人でやっても負けてしまうものらしい。

最後に知り合いから聞いた、パチンコにまつわる逸話を紹介し、本号を締めくくりたい。

ある会社の経営者がいた。彼はパチンコが大好きだったが、いつも負けていた。ある日、パチンコ店の従業員に聞いた。“いつも負けてばかりいますが、ワンポイント勝ち方を教えていただけませんか”。その従業員は答えた。“勝ち方をお教えしましょうか。二度とこちらにはいらっしやらないことです”

参考資料

- <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%82%B8%E3%83%8E>
- <http://www.safetimes.co.kr>
- <http://www.sisajournal.com>
- <https://www.koreaitimes.com>
- <https://www.pressian.com/pages/articles/201492>

